

---

**MOthers**

証券コード

3773

**2010年3月期第2四半期(中間)**  
**決算説明会資料 2009年11月9日**

---



**Advanced Media, Inc.**

株式会社アドバンスト・メディア

代表取締役会長

鈴木 清幸

代表取締役社長

長谷川 一行

取締役 経営企画部長

吉田 一也

---

### <見通しに関する注意事項>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。

その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

---

## 2010年3月期第2四半期実績

---

# 2010年3月期第2四半期ハイライト

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

売上は、医療分野に加えて、議事録・モバイル分野で大型受託案件を獲得し、対前年同期比16%増加。教育・モバイル分野からのライセン収入の比率が高まり、売上高総利益率が改善、販管費抑制も寄与し、収益力は、大幅改善。

## <売上・利益の状況>

単位:百万円

	10年3月期 4-9月	09年3月期 4-9月	対前年比	上半期予想 (期首)	差異	通期予想 (期首)	達成率
売上	574	497	15.5%	580	▲ 6	1,420	40.4%
売上総利益	352	279	26.0%	-	-	-	-
粗利率	61.3%	56.2%	-	-	-	-	-
営業利益	▲ 202	▲ 358	-43.6%	▲ 310	108	▲ 390	-
経常利益	▲ 190	▲ 340	-43.9%	▲ 315	125	▲ 395	-
当期純利益	▲ 128	▲ 295	-56.6%	▲ 320	192	▲ 398	-
営業活動による キャッシュフロー	▲ 78	▲ 313	-74.8%	-	-	-	-
株式の発行による 収入	409	353	15.9%	-	-	-	-

- 売上高: 医療におけるパッケージ製品販売の堅実な延びに加えて、議事録、モバイル分野において、大型受託案件の獲得などにより、対前年同期比大幅に売上を伸ばし、コールセンタ向けソリューション販売の落込みをカバーした。新しい取り組みとして、大手医薬品卸企業への音声認識薬歴作成支援システムOEM供給開始、大手金融機関、テーマパークコールセンタに自動音声応答システム(IVR)の導入に成功
- 営業損益: モバイル・教育分野でのライセン販売比率が高まり、売上高総利益率が、5%改善。販売管理費の13%削減も寄与して、赤字幅が、前年同期比43.6%縮小
- キャッシュフロー: 新株予約権の行使によって、409百万円を調達。営業活動によるキャッシュフロー赤字も、75%改善。

# 分野別売上実績

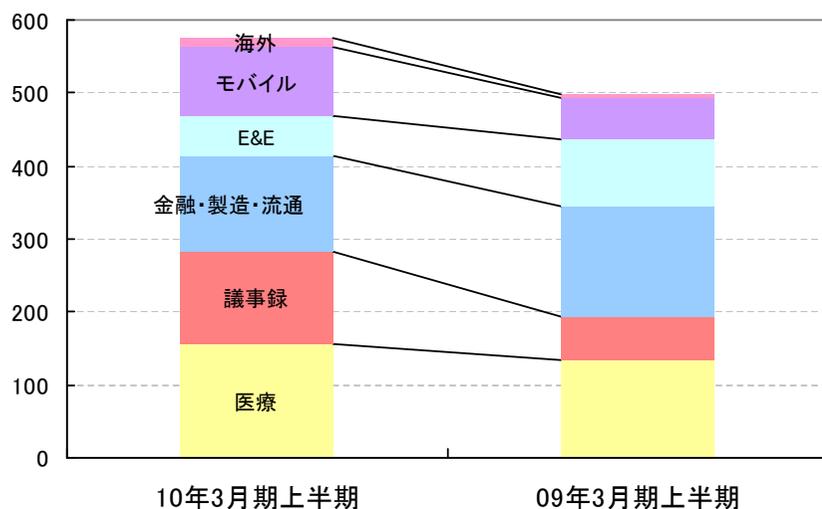
## ■ 分野別売上高推移

注)アドバンスト・メディア単体ベース

単位:百万円

		10年3月期 4-9月	09年3月期 4-9月	増減
プロダクト 事業	医療	282	192	47%
	議事録			
ソリューション 事業	金融	279	301	-7%
	製造・流通			
	E&E			
	モバイル			
その他	海外他	13	4	-
合計		574	497	15%

単位:百万円



## 【実績ハイライト】

景気の不透明感により設備投資抑制続くも、医療、議事録、モバイル分野が堅調で、ほぼ期首売上目標達成

### ■ プロダクト事業(対前年同期比46.4%増加)

- ・ 医療分野は、クリニック、調剤薬局向け伸び悩むも、大規模病院の放射線科を中心に「**AmiVoice**<sup>®</sup> Ex」シリーズ販売が堅調
- ・ 大手医薬卸企業への音声認識薬歴作成支援システムのOEM供給を開始
- ・ 議事録分野は、東京都議会12委員会での全面採用をはじめ、神奈川県議会など自治体向け大型案件獲得

### ■ ソリューション事業(対前年同期比7.2%減少)

- ・ コールセンタ向けソリューションにおいては、新規投資の手控えなどから受注が遅延。一方、金融機関、テーマパークなどのコールセンタに自動音声応答システム(IVR)の新規導入に成功
- ・ モバイル分野は、「らくらくホン」シリーズ向けDSR(分散型音声認識技術)クライアントライセンス収入及び大手通信キャリア向け大型受託案件を獲得し、コールセンタ向けソリューション販売の落込みをカバー
- ・ E&E分野においては、引続きベネッセコーポレーション中学生向け次世代通信教育講座売上が下支え。

# 連結損益計算書(P/L)比較

(単位:百万円)

	10年3月期 4-9月	09年3月期 4-9月	連結比 増減
売上	574	497	77
原価	222	217	4
売上総利益	352	279	72
利益率	61.3%	56.2%	-
販売管理費	555	638	▲ 83
研究開発費	89	105	▲ 15
営業利益	▲ 202	▲ 358	156
利益率	-91.0%	-165.0%	-
経常利益	▲ 190	▲ 340	149
利益率	-85.6%	-156.7%	-
当期純利益	▲ 128	▲ 295	167
利益率	-57.7%	-135.9%	-

## ハイライト

- 売上は、前年同期比16%増加。通期予想の40%達成
- ベネッセコーポレーション「進研ゼミ+i」および「らくらくホン」向けDSRクライアント販売からのライセンス収入増加により売上高総利益率は改善
- 人件費、支払手数料抑制、研究開発費の選別などにより販売管理費削減
- 仕入債務の債務免除益計上

# 連結貸借対照表(B/S)比較

(単位:百万円)

	10年3月期 第2四半期末	09年3月期末	連結比 増減
流動資産	1,754	1,688	65
固定資産	625	441	183
資産合計	2,380	2,130	249
流動負債	221	269	▲ 47
固定負債	10	8	2
負債合計	232	277	▲ 44
資本金	4,585	4,377	207
純資産合計	2,147	1,852	294
負債純資産合計	2,380	2,130	249

ハイライト

- 現預金及び有価証券取得による増加  
売掛金は減少
- 投資有価証券取得による増加
- 買掛金と未払金の減少 保守関連の前受金は増加
- 有利子負債ゼロ
- 新株予約権の行使による増加(415百万円、資本準備金含む)

# 連結キャッシュフロー計算書(C/F)比較

(単位:百万円)

ハイライト

	10年3月期 4-9月	09年3月期 4-9月	連結比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	▲ 78	▲ 313	234
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 350	▲ 31	▲ 319
財務活動による キャッシュ・フロー	407	353	54
現金および現金同等物 に係る換算差額	▲ 8	5	▲ 14
現金および現金同等物 の増減額	▲ 31	14	▲ 45
現金および現金同等物 の期末残高	1,353	1,551	▲ 198

参考) (投資)有価証券取得残高 350

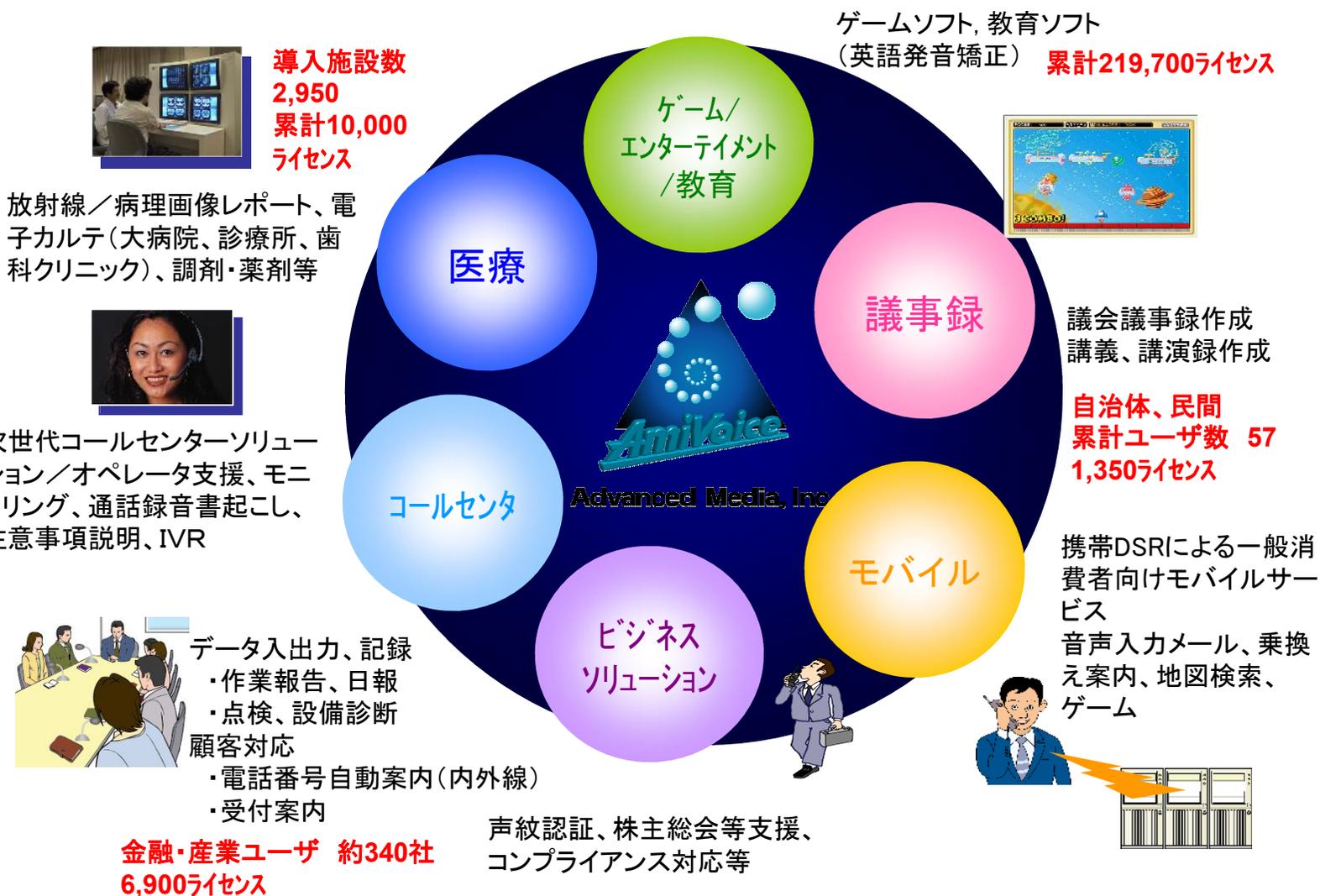
- 収益改善に加え、  
売掛金の回収、仕  
入、未払金の減少  
による支払負担の  
軽減
- 投資有価証券の取  
得による増加
- 新株予約権の行使  
(新株発行)による

## 上期分野別概況

---

# 市場化の現状

音声認識は、一般企業の事業効率向上手段として、真の実用化段階に！  
AmiVoiceは、着実にいろいろな場面において、生活の中に浸透しています。



### 上期概況

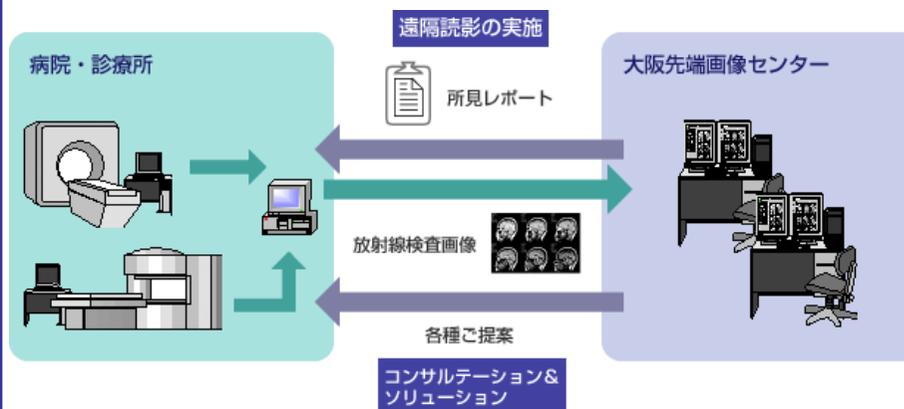
➤フィルムレス加算の影響もあり放射線レポートシステム受注堅調

- ・55病院、140ライセンス
- ・京都府立医科大学附属病院
- ・大阪大学医学部附属病院
- ・東京慈恵会医科大学附属病院
- ・防衛医科大学附属病院
- ・国立病院機構新潟病院
- ・東京女子医科大学病院

➤オンライン請求義務化等の影響受け診療所向け、調剤薬局向けシステムは伸び悩み

➤大手医薬品卸売企業への「音声認識薬歴作成支援システム」のOEM供給開始

### 遠隔読影システム



### 調剤薬局内での薬歴作成



### 上期概況

➤ 東京都議会全12委員会での一括導入という大型案件獲得もあり、売上好調

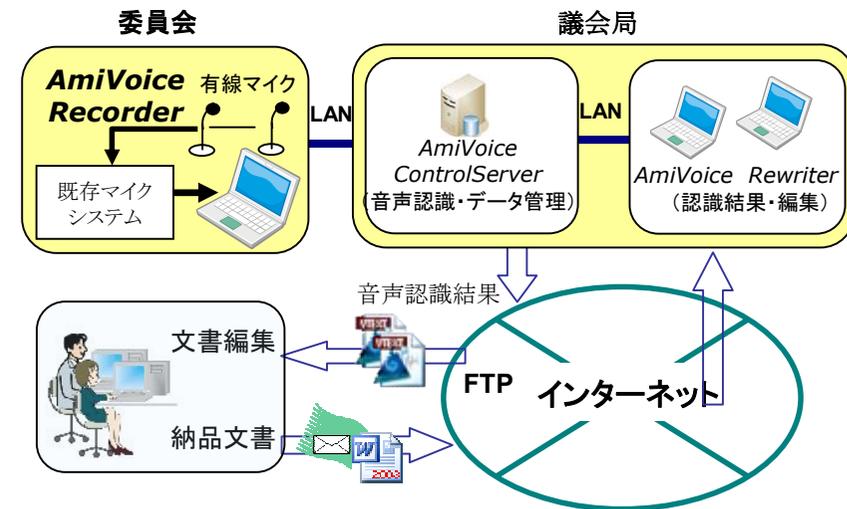
➤ 地方自治体向け主な受注実績

- ・神奈川県庁
- ・神奈川県箱根町
- ・福井県大野市
- ・広島県庄原市
- ・石川県津幡町
- ・福岡県志免町

➤ 地方自治体以外の主な受注実績

- ・株式会社東京証券取引所
- ・福島県民共済生活協同組合
- ・某中央官庁

### 東京都議会 議事録作成システム



### 東京証券取引所 記者会見 議事録作成



・東京証券取引所では「取締役会」議事録作成にも利用

### 上期概況

➤金融・産業分野、設備投資への慎重な姿勢継続の影響もあり、売上目標未達

➤みずほ情報総研など、有力パートナー連携が具体的効果

- ・AIGエジソン生命保険での本導入開始

➤新しい取組として、「自動音声応答システム (IVR)」受注に成功

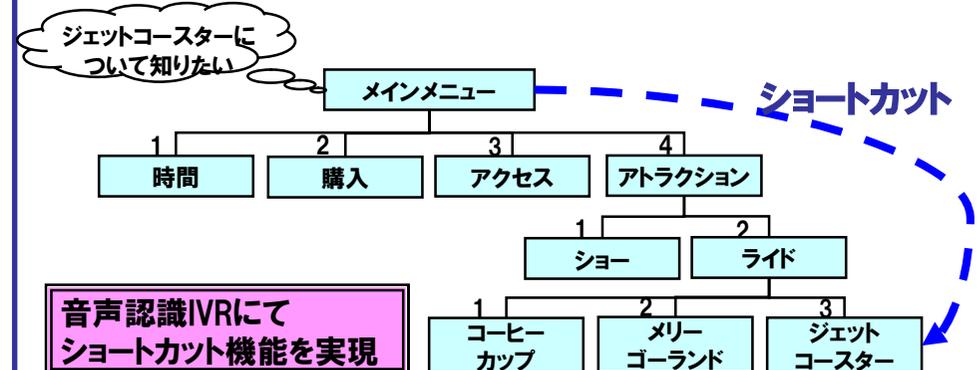
- ・テーマパーク向け
- ・大手キャリア向け

IVR: Interactive Voice Response

### AIGエジソン生命



### 音声認識IVRの機能



●ジェットコースターのガイダンスに行き着くまで

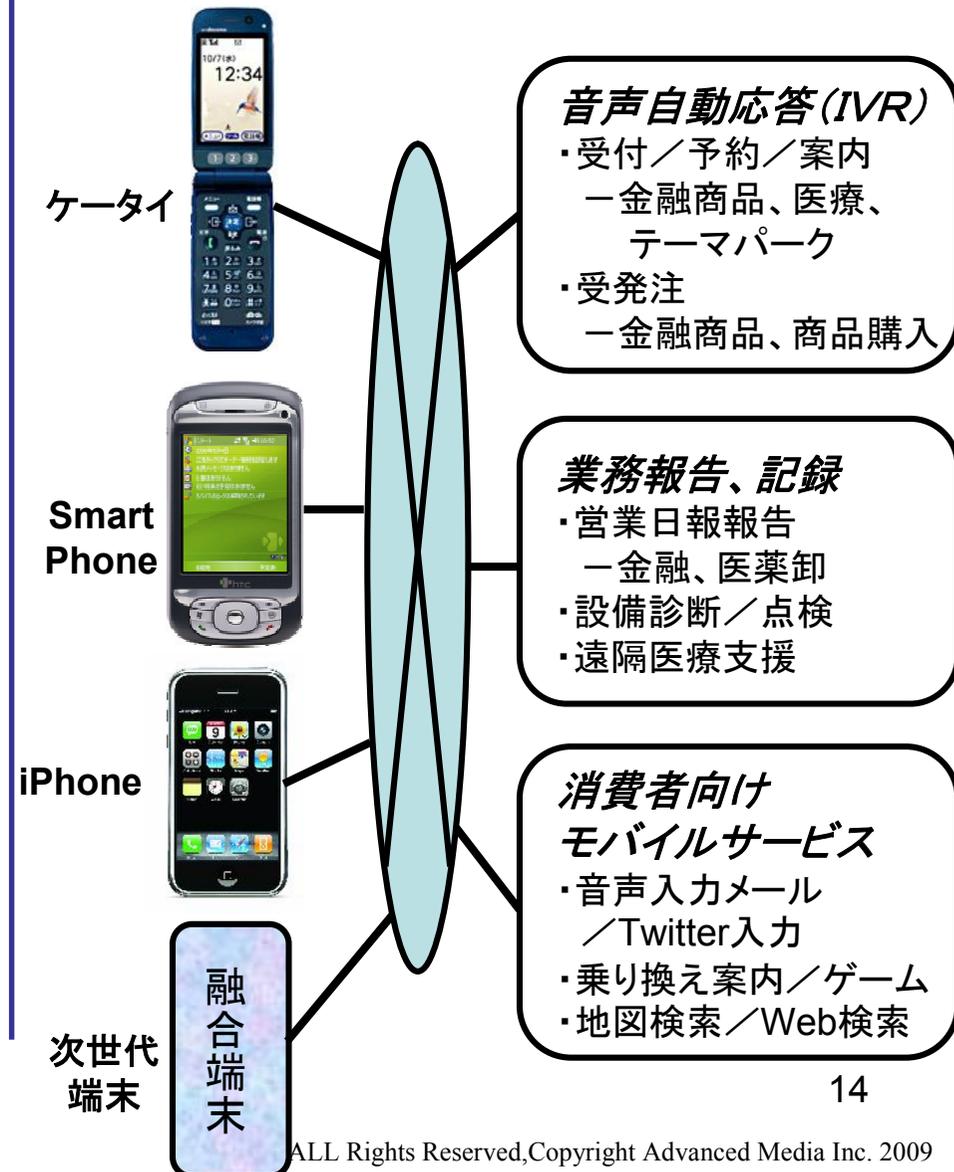
<従来型IVR> メインメニューより『4』→『2』→『3』をプッシュ

<音声認識IVR> メインメニューにて『ジェットコースター』と発話 13

### 上期概況

- ▶ベネッセ提供の次世代型通信教育講座「進研ゼミ+i」中1コースに加えて、中2コースにも拡大採用
  - ▶米アップル社製iPhone向け取組強化
    - ・09.7より「音声認識メールV1.0」有償販売開始
    - ・09.9よりミニブログ「Twitter」対応開始
  - ▶富士通製FOMA®端末「らくらくホン」シリーズへの当社DSRクライアント搭載
- DSR: Distributed Speech Recognition  
分散型音声認識技術

携帯、スマートフォン、iPhoneを  
音声認識インタフェースの中核へ



## 2010年3月期見通しと中期経営計画の進捗

# 2010年3月期見通し

	10年3月期 4-9月	10年3月期 通期予想	達成率	参考) 09年3月期 連結実績
売上	574	1,420	40.4%	1,090
営業利益	▲ 202	▲ 390	51.8%	▲ 595
経常利益	▲ 190	▲ 395	48.1%	▲ 557
当期純利益	▲ 128	▲ 398	32.2%	▲ 527

通期業績予想に変更はなく、連結通期の売上高は1,420百万円、営業損失は390百万円、経常損失は395百万円、当期純損失は398百万円を見込む。

進

## フェーズ1 (2008年度~)

- **コアドメインの確立と拡大**
  - 医療分野における、中・大規模病院向け音声入力ソリューション販売の進展 (放射線科レポート作成向け中心)
  - 金融・流通業界を中核としたコールセンタ向け音声ソリューション導入拡大

捗

## フェーズ2 (2008年度後半~2009年度)

- **収益力の向上 (フェーズ1 から継続実行)**
  - 受託案件におけるセミパッケージ化製品導入による収益率向上
  - 案件大型化に伴う、ライセンス収入比率の増加
- **成長分野への挑戦によるコアドメインの拡大と**  
**サービス型ライセンス事業による安定収益モデルの確立**
  - 今後の成長分野としてモバイル分野や教育分野に注力
  - B2B2Cにおけるサービス型ライセンス事業への取組み強化 (『進研ゼミ+i』モデルの展開)

今後の注力施策

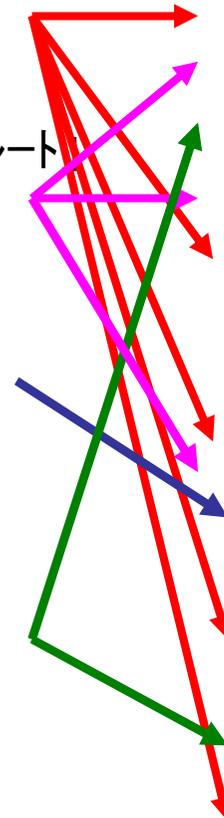
## フェーズ3 (2009年度後半~2010年度)

- **音声認識プラットフォーム化による売上・収益拡大安定基盤の確立**
  - 一般消費者、企業向けの『ボイスデータサービス』\* 事業の導入・展開

\* ) 声 (ボイス) を文字 (データ) 化しコンピュータ処理できるようにするサービス。基盤システムは声を一次処理する音声認識システムと人が高速に修正し高精度のデータを作成する。

## ●声が価値を生み出すサービス事業と、溢れる声をデータにするサービス事業へ

- ニチイ学館との資本・業務提携  
・09.08.07 契約締結
- 保険業界向け「音声認識保険テンプレート」  
・みずほ情報総研
- iPhone向け取組強化  
・「音声認識メール」「Twitter」対応
- 東京都議会全12委員会一括導入



- ①既存ソリューションとプロダクトの拡販  
・サービス型保守とアクティブ営業の導入  
(パートナー企業との連携により)
- ②ソリューション開発を経て新たな  
ライセンス販売に繋げる構造の確立  
・開発力の向上と組織能力の向上
- ③サービス型ライセンスビジネスの追加
- ④DSR利用料徴収ビジネスの追加  
・携帯端末、iPhone、スマートフォン等
- ⑤ボイスデータサービスの導入と展開

革新的な音声認識によるインターフェース革命  
～人中心のコミュニケーションの実現へ～

声が価値を生み出すサービス事業と  
溢れる声をデータにするサービス事業から

# お問合せ先

---

**Advanced Media, Inc.**  
株式会社アドバンスト・メディア

お問合せは

株式会社アドバンスト・メディア

経営企画部 IRグループ まで

TEL:03-5958-1031

FAX:03-5958-1032